

「ペダルなし二輪遊具による坂道の事故に注意」の情報提供について（国民生活センター）

2014. 10. 12

「気を付けて、浴槽での首掛け式浮き輪の事故！！-赤ちゃんは御機嫌でも一瞬も目を離してはいけません-」の情報提供について（消費者庁）

2014. 10. 12

Injury Alert「イヤホンのパーツによる食道異物の類似事例2（画鋲）」追加について（日本小児科学会）

2014. 10. 19

「キックスケーター走行中の子どもの事故に注意！-頭を強く打つと命に関わる大けがを負うことも-」の情報提供について（消費者庁）

2014. 10. 26

「気を付けて、浴槽での首掛け式浮き輪の事故！！-赤ちゃんは御機嫌でも一瞬も目を離してはいけません-」の情報提供について（国民生活センター）

2014. 10. 26

東京都 セーフティ グッズ フェア with サイエンスアゴラ 2014～子供の安全に配慮した商品見本市開催について（東京都生活文化局消費生活部）について

2014. 10. 26

ヒヤリ・ハット調査「乳幼児の転落・転倒による危険」の公表について（東京都生活文化局消費生活部）

2014. 11. 9

「ボタン電池を使用した商品に注意-乳幼児の誤飲により、化学やけどのおそれも-」注意情報掲載について（国民生活センター）

2014. 11. 16

「東京都版チャイルドビジョン（幼児視界体験メガネ）ダウンロード」の案内について（東京都生活文化局消費生活部）

2014. 11. 23

Injury Alert「キックスケーターと自転車

のハンドルによる外傷」追加について（日本小児科学会）

2014. 12. 6

教育・保育施設等における重大事故の再発防止策に関する検討会中間取りまとめの掲載について（内閣府）

2014. 12. 14

「ボタン電池を使用した商品に注意-乳幼児の誤飲により、化学やけどのおそれも-」に「業界の対応」追加について（国民生活センター）

2014. 12. 21

「子どもによる医薬品の誤飲事故に注意！」の掲載について（消費者庁）

2015. 1. 13

「子どもによる医薬品誤飲事故の防止対策の徹底について」掲載について（厚生労働省）

2015. 1. 19

東京くらしWeb「小さな子供による火遊び防止のため旧型の使い捨てライターはすぐに処分しましょう！」情報掲載について（東京都生活文化局消費生活部）

2015. 2. 22

「こどもの事故と対策」HP 開設について（日本小児科学会）

2015. 2. 1

機械式立体駐車場で発生し、子どもが犠牲になった事故に対する考え方（解説）の公開について（消費者庁）

2015. 2. 8

保育施設における事故報告集計の結果公表について（厚生労働省）

2015. 2. 22

「抱っこひもからの転落事故に気を付けて！～注意喚起リーフレット」作成について（東京都生活文化局消費生活部）

<小児保健>

2014. 4. 20

今冬のインフルエンザの発生動向

- (2013/14 シーズン) (2014 年 3 月 28 日版) 公表について (厚生労働省)
2014. 6. 15
熱中症予防のための啓発資料「熱中症を予防しよう-知って防ごう熱中症-」リニューアルについて (日本スポーツ振興センター)
2014. 6. 29
公開シンポジウム「舌小帯短縮症の考え方」(8/17、東京) 開催について (日本小児保健協会)
2014. 7. 6
「新生児聴覚検査の実態調査報告」公表について (日本産婦人科医会)
2014. 8. 3
第 36 回こどもの難病シンポジウム報告の掲載について (難病のこども支援全国ネットワーク)
2014. 9. 14
「海外渡航する子どものトータルケア」研修会 (12/14、東京) の開催について (日本小児科医会)
2014. 9. 28
デング熱国内感染事例発生時の対応・対策の手引き (第 1 版) 掲載について (厚生労働省)
2014. 10. 5
「子どもの健康と環境に関する全国調査 (エコチル調査)」の実施について (日本小児科学会)
2014. 10. 12
小児がん拠点病院等指定後の整備状況にかかるヒアリング結果概要公表について (厚生労働省)
2014. 12. 21
インフルエンザ対策 マメゾウくん&アズキちゃん×各地キャラクターとのコラボ・ポスター掲載について (厚生労働省)
2015. 1. 19
「難病と小児慢性特定疾病に係る医療費助成制度が変わります！」の掲載について (政府広報オンライン)
2015. 2. 1
小児救急市民公開フォーラム (3/21、東京) 開催について (日本小児科学会)
2015. 2. 8
「新生児の痛みの軽減を目指したケア」ガイドライン作成委員会「NICU に入院している新生児の痛みのケアガイドライン」公表について (日本未熟児新生児学会)
- <乳幼児の栄養>
2014. 8. 31
第 1 回「乳幼児栄養調査企画・評価研究会」資料の掲載について (厚生労働省)
2014. 11. 23
第 2 回「乳幼児栄養調査企画・評価研究会」資料の掲載について (厚生労働省)
2014. 12. 21
第 2 回「乳幼児栄養調査企画・評価研究会」(2014 年 11 月 13 日) 議事録の掲載について (厚生労働省)
2015. 3. 1
第 3 回「乳幼児栄養調査企画・評価研究会」議事次第と資料の掲載について (厚生労働省)
- <小児科医の確保>
2014. 11. 2
医療施設動態調査 (平成 26 年 8 月末概数) の結果公表について (厚生労働省)
2015. 1. 26
報道発表「女性医師のさらなる活躍を応援する懇談会」報告書の公表について (厚生労働省)
- <虫歯対策>
2014. 5. 25
平成 26 年度 歯と口の健康週間実施について (厚生労働省)
2015. 2. 8
「こどもたちの口と歯の質問箱」更新について (日本小児歯科学会)

3-5. 【課題 4】に関連するトピックス

<食育>

2014. 4. 6

「地域に根差した民間団体の取組事例集-
つくって、食べて、伝え合う食育-」(地域
に根差した民間団体の取組事例調査報告
書)の掲載について(内閣府)

2014. 4. 13

平成 26 年度スーパー食育スクールの指定
について(文部科学省)

2014. 5. 25

第 9 回食育推進全国大会の開催について
(内閣府)

2014. 6. 1

「食育に関する意識調査」の公表について
(内閣府)

2014. 6. 1

平成 26 年版食育白書の公表について(内
閣府)

2014. 6. 29

「食」を通じて体と心、そして社会との絆
を考える 広げよう「食育の環(わ)」の
情報提供について(政府広報オンライン)

2014. 6. 29

新教材「おやこの食育教室」発行について
(日本食生活協会)

2014. 8. 24

パンフレット「平成 26 年度食育推進ボラ
ンティア表彰事例集」の発行について(内
閣府)

2014. 8. 24

栄養教諭を中核とした食育推進事業事業
結果報告書(平成 25 年度)の公表につい
て(文部科学省)

2014. 10. 12

平成 26 年度食育月間 各都道府県、政令
指定都市の取組紹介について(内閣府)

2014. 11. 16

第 9 回子どもの食育を考えるフォーラム
～子どもの食の安全と対応～(1/24 東京)
開催について(日本小児科医会)

2014. 12. 6

第 9 回食育推進全国大会 実施結果の報
告について(内閣府)

2014. 12. 6

「食育に関する意識調査」掲載について
(内閣府)

2015. 3. 1

第 11 回食育推進全国大会の開催につい
て(内閣府)

<虐待防止>

2014. 4. 6

「児童虐待防止医療ネットワーク事業推
進の手引き」掲載について(厚生労働省)

2014. 4. 13

平成 26 年度「児童虐待防止推進月間」の
標語を募集について(厚生労働省)

2014. 5. 25

子ども虐待防止世界会議名古屋(9/14～
9/17)の開催について(子ども虐待防止世
界会議名古屋 2014 現地委員会)

2014. 6. 1

【「子どもを守るための親権制限制度」
児童虐待から子どもを守るために～民法
の「親権制限制度」が見直されました」の
掲載について(政府広報オンライン)

2014. 7. 20

「子ども虐待診療手引き第 2 版」掲載のお
知らせについて(日本小児科学会)

2014. 7. 27

「子ども虐待診療手引き第 2 版」の情報提
供について(日本小児科学会)

2014. 8. 3

「子育て支援フォーラム in 兵庫 プログ
ラム～子育ての応援とゼロ歳児からの虐
待防止を目指して～」の掲載について(日
本医師会)

2014. 8. 10

平成 25 年度の児童相談所での児童虐待相
談対応件数等の結果掲載について(厚生労
働省)

2014. 9. 21
子ども虐待による死亡事例等の検証結果（第 10 次報告の概要）公表について（厚生労働省）
2014. 9. 21
子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について（第 10 次報告）公表について（厚生労働省）
2014. 9. 28
児童虐待及び福祉犯の検挙状況等（平成 26 年上半年期）の公表について（警察庁）
2014. 10. 12
社会保障審議会（児童虐待防止対策のあり方に関する専門委員会）の議事録と資料閲覧について（厚生労働省）
2014. 10. 19
平成 26 年度「学生によるオレンジリボン運動」実施について（厚生労働省）
2014. 10. 19
「子どもの虐待防止推進全国フォーラム in わかやま」を開催について（厚生労働省）
2014. 11. 2
平成 26 年度「児童虐待防止推進月間」の取り組みについて（厚生労働省）
2014. 11. 16
報道発表「居住実態が把握できない児童」に関する調査結果等の報告について（厚生労働省）
2015. 1. 13
愛育ねっと「保育・養育そうだん室第 70 回子どもに関する相談のあり方について～児童虐待を早期発見するにはどうすればよいのか～」の掲載について（恩賜財団母子愛育会）
- <子ども・子育て支援制度>
2014. 4. 6
「子ども・子育て支援新制度 なるほど BOOK」（子ども・子育て支援新制度のパンフレット）の発行について（内閣府）
2014. 4. 20
子ども・子育て支援新制度 草の根勉強会 実施報告書の掲載について（内閣府）
2014. 4. 20
地方版「子ども・子育て会議」の取組事例に関する調査報告書の掲載について（内閣府）
2014. 5. 10
平成 26 年度 子ども・子育て支援新制度フォーラムの案内について（内閣府）
2014. 6. 8
子ども・子育て支援新制度の紹介について（内閣府）
2014. 6. 15
子ども・子育て支援法施行規則の一部を改正する内閣府令案に対する意見募集について（内閣府）
2014. 7. 13
平成 26 年度 子ども・子育て支援新制度フォーラムの開催について（内閣府）
2014. 7. 27
子ども・子育て支援新制度の解説について（文部科学省）
2014. 7. 27
子ども・子育て支援新制度ハンドブック（施設・事業者向け）の発行について（内閣府）
2014. 8. 3
子ども・子育て支援法等の施行に伴う関係政令の整備に関する政令案に対する意見募集について（内閣府）
2014. 8. 10
第 1 回子育て支援員（仮称）研修制度に関する検討会 資料掲載について（内閣府）
2014. 9. 7
子育て支援員（仮称）研修制度に関する検討会 第 1 回 専門研修ワーキングチーム（地域保育）資料掲載について（内閣府）
2014. 9. 21
「子ども・子育て支援新制度 なるほど BOOK（平成 26 年 9 月改訂版）」（子ども・

- 子育て支援新制度のパンフレット)の掲載について(内閣府)
2014.10.5
「子ども・子育て支援新制度の利用に向けて～平成27年4月からスタートします」の動画掲載について(政府広報オンライン)
- 2014.10.5
私立幼稚園の子ども・子育て支援新制度への移行に関する意向調査の結果(都道府県別)掲載について(厚生労働省)
- 2014.10.5
子育て支援員(仮称)研修制度に関する検討会 第2回 専門研修ワーキングチーム(地域保育)資料掲載について(内閣府)
- 2014.10.26
第1回子育て支援員(仮称)研修制度に関する検討会 議事録(2014年8月4日) / 資料掲載について(内閣府)
- 2014.10.26
第4回子育て支援員(仮称)研修制度に関する検討会 資料掲載について(内閣府)
- 2014.10.26
子育て支援員(仮称)研修制度に関する検討会 第3回 専門研修ワーキングチーム(地域保育)資料掲載について(内閣府)
- 2014.11.2
「特集 子育て支援」の掲載について(政府広報オンライン)
- 2014.11.2
子育て支援員(仮称)研修制度に関する検討会 第2回(2014年9月3日) / 第3回(2014年9月29日)議事録掲載について(内閣府) 2014.12.6 子ども・子育て会議(第20回)、子ども・子育て会議基準検討部会(第24回)合同会議の資料掲載について(内閣府)
- 2015.1.26
「子ども・子育て支援新制度 なるほどBOOK」(子ども・子育て支援新制度のパンフレット)の外国語翻訳版掲載について(内閣府)
- 2015.2.1
子ども・子育て支援新制度説明会(1月23日開催)の資料掲載について(内閣府)
- 2015.2.1
「子ども・子育て支援新制度 なるほどBOOK」(子ども・子育て支援新制度のパンフレット)の英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語版の掲載について(内閣府)
- <子どもの心>
- 2014.4.6
「子どもの心」研修会(導入篇)の開催について(日本小児科医会)
- 2014.5.10
第8回「子どもの心の診療医」研修会開催について(厚生労働省、日本小児科医会、恩賜財団母子愛育会)
- 2015.1.13
第9回プライマリケア医(小児科医、総合診療医)のための子どもの心の診療セミナーの開催について(日本小児神経学会)
- <子どもの預かりサービス>
- 2014.7.6
「認可外保育施設及び子どもの預かりサービスに関する調査」の結果公表について(厚生労働省)
- 2014.8.10
児童部会子どもの預かりサービスの在り方に関する専門委員会(第1回)の資料掲載について(厚生労働省)
- 2014.9.7
児童部会子どもの預かりサービスの在り方に関する専門委員会(第1回)(2014年8月4日)の議事次第掲載について(厚生労働省)
- 2014.11.23
児童部会子どもの預かりサービスの在り方に関する専門委員会 議論のとりまとめについて(厚生労働省)

<幼稚園、保育園、認定こども園>

2014. 5. 18

幼稚園教諭免許状を有する者における保育士資格取得特例の掲載について(厚生労働省)

2014. 8. 3

幼保連携型認定こども園教育・保育要領中央説明会の資料掲載について(内閣府)

2014. 8. 10

「平成 24 年度認可外保育施設の現況取りまとめ～施設、入所児童数ともに増加、ベビーホテルの数は減少～」掲載について(厚生労働省)

2014. 9. 14

「待機児童解消加速化プラン」集計結果公表について(厚生労働省)

2014. 9. 14

保育所関連状況取りまとめ(平成 26 年 4 月 1 日)について(厚生労働省)

2014. 12. 6

幼保連携型認定こども園教育・保育要領の解説書掲載について(内閣府)

2015. 1. 13

平成 24 年地域児童福祉事業等調査の結果～認可保育所利用世帯、認可外保育施設の状況(平成 24 年 10 月実施)～公表について(厚生労働省)

2015. 1. 19

資料「保育士確保プラン」の公表について(厚生労働省)

2015. 3. 1

「保育士・保育所支援センターの取組事例に関わる調査」の公表について(厚生労働省)

2015. 3. 1

「保育士就職促進対策集中取組月間」について(厚生労働省)

<ワークライフバランス>

2014. 4. 20

「くるみんマーク」の紹介について(厚生

労働省)

2014. 5. 18

「あなたも取れる!産休&育休パンフレット」の掲載について(厚生労働省)

2014. 5. 18

「ワークライフバランスに関する個人・企業調査」の結果公表について(内閣府)

2014. 11. 30

新「くるみんマーク」と「プラチナくるみんマーク」誕生の掲載について(厚生労働省)

<その他>

2014. 4. 13

平成 25 年度「楽しい子育て全国キャンペーン」～親子で話そう!家族のきずな・我が家のルール～三行詩優秀作品集の掲載について(文部科学省)

2014. 4. 20

平成 26 年度児童福祉週間における取組について(厚生労働省)

2014. 4. 27

平成 25 年度「家族と地域における子育てに関する意識調査」報告書の掲載について(内閣府)

2014. 5. 10

愛育ねっと『乳幼児と保護者、妊産婦のための防災ハンドブック』作成について(恩賜財団母子愛育会)

2014. 6. 8

平成 26 年度「家族の日」「家族の週間」実施要綱の掲載について(内閣府)

2014. 6. 22

平成 25 年度幼児期の運動促進に関する普及啓発事業「実践事例報告集」の掲載について(文部科学省)

2014. 7. 6

イクメン スピーチ甲子園 2014 のお知らせについて(厚生労働省)

2014. 7. 6

平成 26 年度家族や地域の大切さに関する

作品コンクール募集要項の掲載について
(内閣府)
2014. 8. 3
日本産婦人科医会が提言する少子化対策
の紹介について (日本産婦人科医会)
2014. 9. 7
医師の子育てを応援するリレーコラムの
更新について (日本小児科学会)
2014. 10. 26
家庭児童相談室制度発足 50 周年記念家庭
相談員全国大会の開催について (厚生労働
省)
2014. 12. 14
第 12 回 21 世紀出生児縦断調査 (平成 13
年出生児) の概況公表について (厚生労働
省)
2014. 12. 21
医師の子育てを応援するリレーコラムの
更新について (日本小児科学会)
2015. 1. 13
ファミリー・サポート・センターの案内掲
載について (厚生労働省)
2015. 1. 19
報道発表 児童養護施設入所児童等調査
の結果 (平成 25 年 2 月 1 日現在) 掲載に
ついて (厚生労働省)
2015. 1. 26
報道発表 平成 27 年度「児童福祉週間」
の標語決定について (厚生労働省)
2015. 2. 1
「楽しい子育て全国キャンペーン」～家庭
で話そう! 我が家のルール・家族のきず
な・命の大切さ～三行詩優秀作品の選定に
ついて (内閣府)
2015. 2. 15
子どもと ICT (スマートフォン・タブレッ
ト端末など) の問題についての提言につい
て (日本小児連絡協議会「子どもと ICT～
子どもたちの健やかな成長を願って～」委
員会)
2015. 3. 1

子ども・子育て支援新制度 (すくすくジャ
パン!) キャンペーンソングの動画掲載に
ついて (内閣府)
【その他】
<健やか親子 2 1 関係>
2014. 4. 6
健やか親子 2 1 の最終評価等に関する検
討会のページへのリンクについて
2014. 5. 18
愛育ねっと「健やか親子 2 1」最終評価・
次期計画づくりに関する研修の案内につ
いて (恩賜財団母子愛育会)
2014. 5. 18
「健やか親子 2 1 (第 2 次)」について 検
討会報告書の公表について (厚生労働省)
2014. 6. 1
自治体における「健やか親子 2 1」最終評
価・次期計画研修会の開催について (恩賜
財団母子愛育会)
2014. 7. 20
「健やか親子 2 1 (第 2 次)」シンボルマ
ークの取り扱いについて (厚生労働省)
2014. 10. 12
第 10 回「「健やか親子 2 1」の最終評価等
に関する検討会」の開催案内について (厚
生労働省)
2014. 11. 23
第 14 回健やか親子 2 1 推進協議会総会の
開催案内について (厚生労働省)
2014. 12. 14
平成 27 年 4 月開始「健やか親子 2 1 (第
2 次)」のポスター・パンフレット公表に
ついて (厚生労働省)
<健やか親子 2 1 推進協議会>
2014. 4. 13
推進協議会に、日本母子看護学会を追加
2014. 6. 22
日本家族計画協会 平成 26 年度セミナー
(2014 年度) 年度計画一覧表を掲載
2015. 1. 13

推進協議会資料のページを更新

2015. 2. 22

難病のこども支援全国ネットワーク「プレイリーダー養成講座 2015」を掲載

2015. 3. 1

日本栄養士会 「管理栄養士・栄養士になるあなたへ」最新版を掲載

<その他>

2014. 4. 27

「民生委員・児童委員の活動環境の整備に向けた検討会」の報告書のとりまとめについて（厚生労働省）

2014. 8. 24

平成 25 年度文部科学白書の公表について（文部科学省）

2014. 8. 3

「平成 26 年版厚生労働白書」の公表について（厚生労働省）

2014. 10. 19

平成 26 年度保健師活動領域調査（領域調査）の結果公表について（厚生労働省）

2014. 12. 14

平成 25 年「国民健康・栄養調査」の結果公表について（厚生労働省）

2014. 12. 6

「暮らしの質」向上検討会のページの新設について（内閣官房）

4. 取り組みのデータベースの運営状況

都道府県別母子保健に関する取り組み事業掲載数は、47 都道府県別に見て、ばらつきはあるが、全ての県からの登録を得ている。

毎年、厚生労働省から各都道府県に「登録に関する依頼」通知を発信し、図 1 の画面から、各地方自治体の担当者が登録をしている。過去の事業も掲載しており、各地方自治体が、新事業を検討する際の参考となるように、予算も掲載している。また、実際に関わる保健師等専門職の人数も掲載しており、参照できる。

表 1 に、年度別の情報登録および更新回数を

示す。年度別のばらつきはあるが、更新されている。

協力機関	<input type="checkbox"/> 幼稚園 <input type="checkbox"/> 教育研究所 <input type="checkbox"/> 保健所 <input type="checkbox"/> 民間相談機関 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 大学・研究機関 <input type="checkbox"/> 病院 <input type="checkbox"/> 地域のボランティア	<input type="checkbox"/> 教育委員会 <input type="checkbox"/> 警察 <input type="checkbox"/> 診療所
住民参加状況	<input type="checkbox"/> 計画から参加 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実施主体側として	<input type="checkbox"/> なし
従事者内訳	<input type="checkbox"/> 保健師 <input type="checkbox"/> 医師 <input type="checkbox"/> 薬剤師 <input type="checkbox"/> 保育士 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 栄養士 <input type="checkbox"/> 歯科医師 <input type="checkbox"/> 事務職員 <input type="checkbox"/> 教員	<input type="checkbox"/> 助産師 <input type="checkbox"/> 歯科衛生士 <input type="checkbox"/> 児童福祉士 <input type="checkbox"/> 義理教諭
補助金・助成金	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> 都道府県 <input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 市町村 <input type="checkbox"/> その他
事業の評価	<input type="checkbox"/> 数値目標を評価した	<input type="checkbox"/> 目標を達成した	<input type="checkbox"/> 今後も継続する
検索する事業が あてはまる項目	<input type="checkbox"/> 地域の子育て支援の充実 <input type="checkbox"/> 子どもの事故防止 <input type="checkbox"/> 食育の推進	<input type="checkbox"/> 小児医療の充実 <input type="checkbox"/> 虐待の発生予防 <input type="checkbox"/> 妊娠中からの 母子歯科保健の推進	<input type="checkbox"/> 病気が障害のある 子どもへの支援 <input type="checkbox"/> 思春期における 性教育の推進 <input type="checkbox"/> いじめ
専門家評価	<input type="checkbox"/> 優秀事業		
キーワード	入力例:「育児 母親 虐待」 ◎全ての言葉を含むデータを検索（例:「育児」「母親」「虐待」全てを含むもの） ○いずれかの言葉を含むデータを検索（例:「育児」「母親」「虐待」いずれかを含むもの）		

図 1 取り組みのデータベース登録画面

表 1 年度別の情報登録および更新回数

2006 年度	1,482
2007 年度	185
2008 年度	259
2009 年度	286
2010 年度	507
2011 年度	387
2012 年度	651
2013 年度	1,218
2014 年度	1,340

課題別の登録件数は、「思春期の保健対策の強化と健康教育の推進」が 763 件、「妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援」は 948 件、「小児保健医療水準を維持・向上させるための環境整備」は 595 件、「子どもの心の安らかな発達促進と育児不安の軽減」は 2,876 件、「健康日本 21 に含まれる母子保健に関するテーマ」は 1,344 件である。

登録事業として、「子どもの心の安らかな発達促進と育児不安の軽減」が、毎年最も多い。

図2 2009-2014年の健やか親子21全コンテンツへのアクセス数の推移

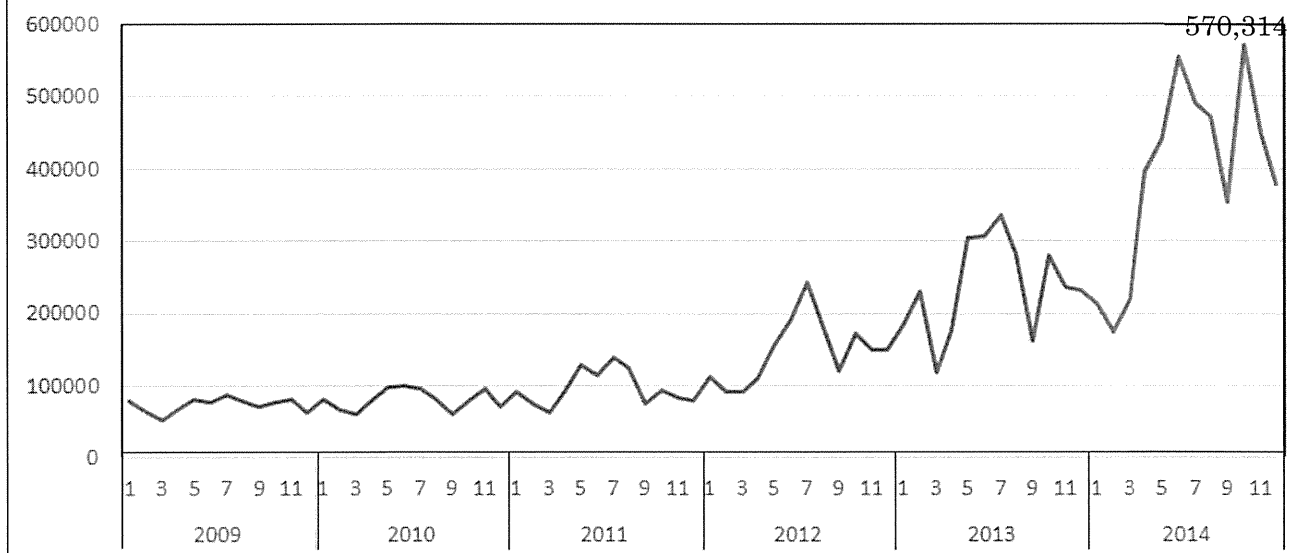


図3

健やか親子21ホームページ
全コンテンツへのアクセス数の推移



5. 母子保健・医療情報データベースの運営
状況

母子保健・医療情報データベースは、Web 公開された 2001 年 4 月以降、現在まで 14 年間にわたって運営されてきた。2015 年 1 月末現在でのデータ数は表 2 および表 3 に示した。

データベースのデータ数の推移を図 4 に示した。公開時に 2,337 件であったデータは、14 年間の歩みの中で毎年平均 211 件が追加され、現在では 5,197 件となった。

表 2 情報源別データベース登録数

	2014 年 1 月末現在	
	掲載数	割合
子ども家庭総合研究	1,962	(39.5%)
学術研究雑誌	1,402	(28.3%)
民間研究所報告書	656	(13.2%)
愛育研究所所蔵文献	475	(9.6%)
統計調査	447	(9.0%)
その他	255	(5.1%)
計	5,197	

表 3 データ数の推移

	データ追加数	データ総数
公開時		2,337
2001 年度	403	2,740
2002 年度	219	2,959
2003 年度	272	3,231
2004 年度	294	3,525
2005 年度	160	3,685
2006 年度	189	3,874
2007 年度	217	4,091
2008 年度	195	4,286
2009 年度	238	4,524
2010 年度	96	4,620
2011 年度	142	4,762
2012 年度	200	4,962
2013 年度	121	5,083
2014 年度	114	5,197
合計	2,860	

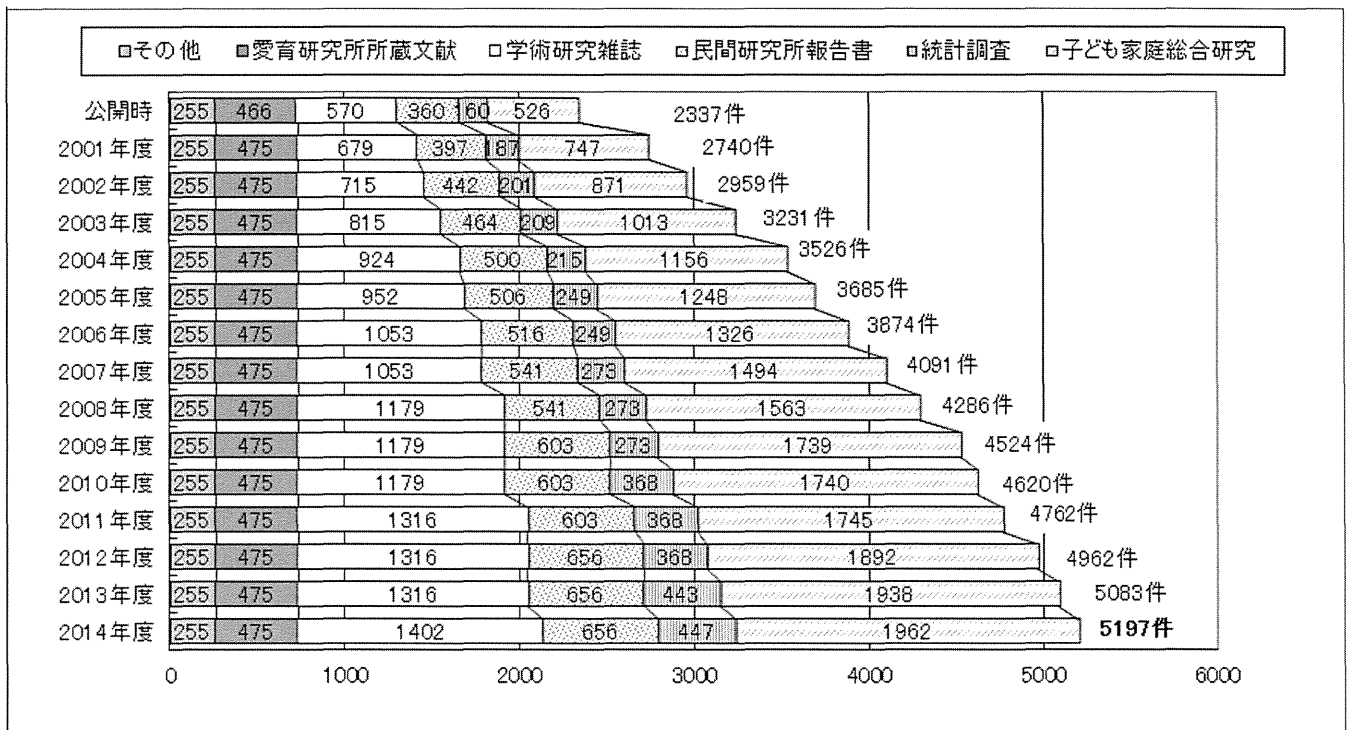


図 4 母子保健・医療情報データベースのデータ数の推移

データベースの利用状況を把握する一つの指標として、アクセス数を用いた。ここでのアクセス数とは、ページビュー数のことであり、利用者の1回のリクエストによってブラウザ上に表示される1画面が1ページとカウントされる。

アクセス数は、公開から約1か月後の2001年5月14日から把握が可能となり、以来、日・月別に集計され、Web上で管理者が閲覧できるようになっている。尚、運営は、常にパスワード管理されている管理用画面のみを利用するため、このアクセス数に管理者の作業用のアクセス数は含まない。

表4にデータベースへのアクセス数を示した。2014年(4-12月)には、トップ画面には49,831件、検索画面には10,072件のアクセスがあった。約14年間で、トップ画面には約44万件、検索画面には約51万7千件のアクセスがあった。

図5に一日あたりの平均アクセス数の推移を年度毎に示した。2014年の1日平均アクセス数は、トップ画面では181件、検索画面では37件となっており、近年の傾向としては、トップ画面では増加傾向が現れ、反対に検索画面においては若干の低下傾向が続いている。

表4 データベースへのアクセス数

	トップ画面	検索画面
2001年度	15,278	31,877
2002年度	23,958	49,090
2003年度	23,577	41,513
2004年度	30,179	47,938
2005年度	38,379	58,562
2006年度	40,475	59,214
2007年度	26,593	34,150
2008年度	27,703	33,953
2009年度	40,707	52,805
2010年度	31,385	38,673
2011年度	26,114	25,048
2012年度	26,298	19,384
2013年度	38,810	14,947
2014年(4-12月)	49,831	10,072
合計	439,287	517,226

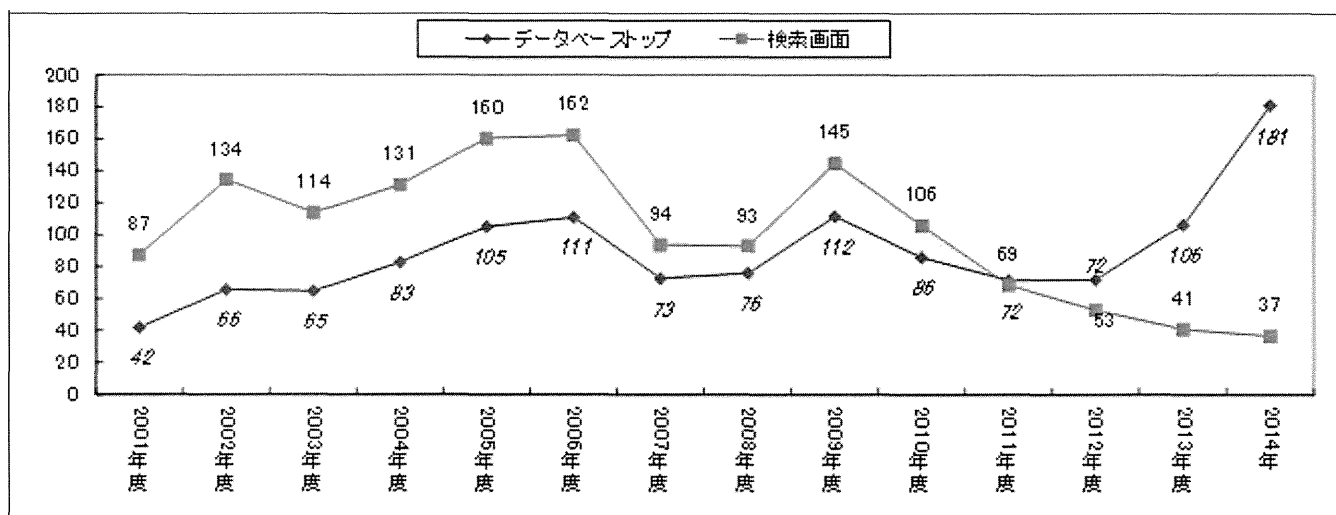


図5 年度別にみた1日あたりの母子保健・医療情報データベースへのアクセス数

6. 健やか親子21公式ホームページ更新内容のまとめ

2014年度の健やか親子21公式ホームページの詳細について報告した。以下に全体のまとめを記す。

- 1) 健やか親子21のホームページには、2014年は約6万1千件のアクセスがあり、特に7月以降、若干増加傾向が見られた。「全コンテンツアクセス数」が増加しており、利用者のニーズに沿った運営ができてきているものと考えられる。
- 2) すべての資料について、アクセス数が多い順に並べると下記のようになった。

■1位

「健やか親子21」最終評価報告書(本文)
1,666,267

■2位

楽しく食べる子どもに 食を通じた子どもの健全育成のあり方に関する検討会報告書
(H16) 1,596,407

■3位

妊産婦のための食生活指針「健やか親子21」推進検討会報告書 410,878

■4位

授乳・離乳の支援ガイド(H19) 279,749

■5位

子どもの心の健康問題ハンドブック 小児心身症対策の推進に関する研究班(H14)
151,631

■6位

母子保健・医療情報データベース 58,112

■7位

2006年版パンフレット「健やか親子な国」
57,868

■8位

「健やか親子21」中間評価報告書(H18)
25,825

■9位

健やか親子21について 25,190

■10位

日本看護協会「より充実した母子のケアのために 産科混合病棟 ユニットマネジメント導入の手引き」 19,548

例年、食育の報告書(今年度2位)が1位であったが、2014年は2013年12月より公開されている健やか親子21の最終評価報告書が一番多いアクセス数を記録した。また母子保健データベースについても、特に7月以降、アクセス数が急激に増加していた。

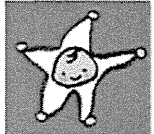
- 3) 2014年一年間合計の、全てのアクセス数の合計は、471万4,284件。2013年度は284万7,068件であったため、前年比1.65倍の増加であった。

D. まとめ

ホームページへのアクセス数は確実に増加し、その後凹凸はあるが、本ホームページを周知する目的は達成できたと考えられる。また、母子保健・医療情報データベースは、安定した利活用がされており、今後も有用な情報ツールであると考えられる。母子保健・医療情報データベースのアクセス数は着実に上昇しており、今後の更新も定期的に行なっていく予定である。

「健やか親子21」公式ホームページ


—母子保健の2014年までの国民運動計画—



健やか親子21

作成: 2001年 5月14日
更新: 2013年 3月21日
00800298

Eメールでお問い合わせ



■ ■ ■ メインメニュー ■ ■ ■

「健やか親子21」について	イベントと研修会情報
取り返しのデータベース	母子保健・医療情報データベース
取り返しの目標値	地方計画
推進協議会	E-サポート
学校保健	リンク

3月14日更新
このサイトについて

■ ■ ■ トピックス ■ ■ ■

- ◎ 保育所保健指導(平成24年10月)
- ◎ 平成23年度 認可外保育施設の環境取組のまとめ
- ◎ 平成23年 地域児童福祉事業等調査の概要(町村の産育力)の取組状況(平成23年10月発表)
- ◎ 現在の産物利用の状況(厚生労働省)
- ◎ 「アキ」によるオンライン運動が実施されました。二年度にわたる児童虐待予防の取組(産育力)の取組状況(産育力)
- ◎ 妊産婦健診の公費負担の状況にかからず結果に基づいて
- ◎ 「乳幼児肥満」の取組の取組状況(産育力)結果について

E. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

F. 知的財産権の出願・登録状況

なし

「健やか親子21（第2次）」の新ホームページ作成の経過報告

研究協力者 篠原 亮次（山梨大学大学院総合研究部医学域附属出生コホート研究センター）
研究協力者 秋山 有佳（山梨大学大学院医学工学総合教育部社会医学講座）
研究代表者 山縣 然太朗（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座）

「健やか親子21」は平成13年に策定され、同時に公式ホームページも開設された。これまで公式ホームページでは、定期的な母子保健に関連する最新情報の提供、地域や団体の取り組み（事業）を検索・登録できる「取り組みのデータベース」、母子保健・医療・福祉に関する調査・研究・事業等の情報を統合した「母子保健・医療情報データベース」等のシステムを提供してきた。

平成27年3月をもって現行の「健やか親子21」は終了となり、来年度から「健やか親子21（第2次）」が始まることとなる。それに伴い、第2次の新ホームページを作成することとし、引き続き「健やか親子21（第2次）」の周知・推進のために一翼を担っていくことを目的とする。

第2次のホームページ作成にあたり、現行の公式ホームページの今後の扱い方法やデータベースの移行について、および第2次のホームページの作成方法等の検討を行ってきた。その結果、現行のホームページはそのまま残し、新たに更新等はされないが、今後も検索されるよう管理していくこととした。また、データベースは第2次の新ホームページに移行することとした。そして、新しく開設する第2次のホームページの基本構成とデザインを検討し、現在、ベースとなるデザインをホームページ作成業者に依頼し検討を重ねている。

来年度からは新たに第2次が始まることから、「健やか親子21（第2次）」の周知および推進が必要である。周知および推進を図るため、ホームページでは引き続き有効な情報の発信を行っていくことが重要である。また、ホームページにアクセスした閲覧者が情報の検索のしやすいデザイン、および入力しやすいシステムを構築していくことも重要である。引き続き検討および改定を行っていく。

A. 目的

「健やか親子21」は平成13年に策定され、それと同時に公式ホームページも開設された。これまで公式ホームページでは、定期的な母子保健に関連する最新情報の提供、地域や団体の取り組み（事業）を検索・登録できる「取り組みのデータベース」、母子保健・医療・福祉に

関する調査・研究・事業等の情報を統合した「母子保健・医療情報データベース」等のシステムの提供を行ってきた。これまでの14年間の当ホームページへのアクセスは、平成27年2月までに約88件以上であり、「健やか親子21」の周知および推進の一助となってきたと考えられる。

本年度で現行の「健やか親子21」は終了となり、来年度から「健やか親子21（第2次）」が始まる。それに伴い、第2次の新ホームページを作成することとし、引き続き「健やか親子21（第2次）」の周知・推進のために一翼を担っていくことを目的とする。

本稿では、「健やか親子21（第2次）」のホームページ作成の経過、および現状を報告する。

B. 方法

1. 現行の「健やか親子21公式ホームページ」

の扱い、および新ホームページへの移行についての打ち合わせ

現行の「健やか親子21公式ホームページ」の今後の運営方法について、研究代表者およびホームページ担当者、情報システムの管理を担っている情報管理業者との打ち合わせを行った。内容は以下に示す通りである。

【内容】

- ・現行の「健やか親子21公式ホームページ」の存続・管理方法について
- ・「取り組みのデータベース」、「母子保健・医療情報データベース」のシステム移行について

2. 新ホームページの作成方法の検討

新しいホームページの作成については厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課と研究班とで検討を行った。検討内容は以下の通りである。

【内容】

- ・作成・運営方法について
- ・掲載内容
- ・開設時期

C. 結果

1. 現行の「健やか親子21公式ホームページ」

の扱い、および新ホームページへの移行についての打ち合わせ結果

現行の「健やか親子21公式ホームページ」は、これまでと同様、平成27年3月31日まで情報提供等の更新を行っていく。また、4月以降もこのホームページを削除することなく残り、検索・閲覧できる状態で管理していくこととした。しかし、新たな情報の更新は行わず、4月以降の情報提供等に関しては新しく開設する第2次のホームページで行っていく。

「取り組みのデータベース」および「母子保健・医療情報データベース」に関しては、引き続き検索はできるようにするが、新規事業の入力は第2次のホームページへ移行することとした。

2. 新ホームページの作成方法の検討結果

新ホームページの作成は、基本構成とデザインを当研究班で検討し、ベースとなるシステムの構成やデザイン作成をホームページ作成業者に依頼することとした。また、母子保健情報等の更新はこれまでと同様、ホームページ担当者が行うこととした。

「取り組みのデータベース」および「母子保健・医療情報データベース」に関しては、これまでと同様、情報管理業者にシステム管理を依頼し、情報管理は山梨大学で行っていくこととした。

ホームページの掲載内容は、現行のホームページと同様、以下の項目を基本とし、運営していく段階で必要に応じて変更していくこととした。

【掲載内容】

- ・「健やか親子21（第2次）」について
- ・イベントと研修会情報
- ・取り組みのデータベース
- ・母子保健・医療情報データベース

- ・取り組みの目標値
- ・推進協議会
- ・地方計画
- ・その他
- ・メーリングリストのご案内
- ・関連資料
- ・各省庁の会議資料
- ・各省庁の通達・通知資料
- ・山縣班報告書
- ・シンボルマークの使用法
- ・「健やか親子21」セレクト
- ・健診マニュアル（山崎班）
- ・トピックス

新しいホームページの開設は、「健やか親子21（第2次）」の開始と合わせるため、平成27年4月1日とした。

3. 新ホームページの作成過程

基本構成とデザインを当研究班で検討し、ベースとなるシステムの構成やデザイン作成をホームページ作成業者に依頼した。

平成27年2月現在、ホームページの構成およびデザインのイメージを業者側に伝え、案を提出してもらい、再度研究班で検討し、現在、すりあわせを行っている。現在のデザイン案を資料8-1に示す。

今後は、デザイン等が決定し次第、ホームページ開設に向けてシステムの構成を進める予定である。

D. 考察

現行の「健やか親子21公式ホームページ」は開設から14年間で約88件以上のアクセスがあった。特に、中間評価および最終評価年度には多くのアクセスがあった。また、データベースへの登録や検索も毎年一定件数が得られており、多くの人に利活用されてきたと考えられ

る。来年度からは新たに第2次が始まることから、「健やか親子21（第2次）」の周知および推進を図るため、引き続き有効な情報の発信を行っていく必要がある。また、ホームページにアクセスした閲覧者が情報を検索しやすいデザイン、および入力しやすいシステムを構築していくことも重要であることから、引き続き検討および改定を行っていく予定である。

E. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

F. 知的財産権の出願・登録状況

なし

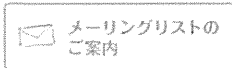
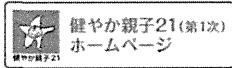


健やか親子21(第2次) ホームページ



厚生労働科学研究補助金 健やか次世代育成総合研究事業
「健やか親子21」の最終評価・課題分析及び次期国民健康運動の推進に関する研究」班

- ホーム
- 健やか親子21について
- イベントと研修会情報
- 取り組みデータベース
- 母子保健・医療情報データベース
- 取り組みの目標値
- 推進協議会
- 地方計画
- その他



作成 : 2015年4月1日
最終更新日 : 2015年4月1日
00000000人目

トピックス 過去のトピックス



平成27年4月開始
「健やか親子21(第2次)」の
ポスター・パンフレット



- ・厚生労働省報道発表 児童養護施設入所児童等調査の結果(平成25年2月1日現在)
- ・厚生労働省報道発表 児童養護施設入所児童等調査の結果(平成25年2月1日現在)
- ・厚生労働省報道発表 児童養護施設入所児童等調査の結果(平成25年2月1日現在)
- ・厚生労働省報道発表 児童養護施設入所児童等調査の結果(平成25年2月1日現在)
- ・厚生労働省報道発表 児童養護施設入所児童等調査の結果(平成25年2月1日現在)
- ・厚生労働省報道発表 児童養護施設入所児童等調査の結果(平成25年2月1日現在)

更新履歴

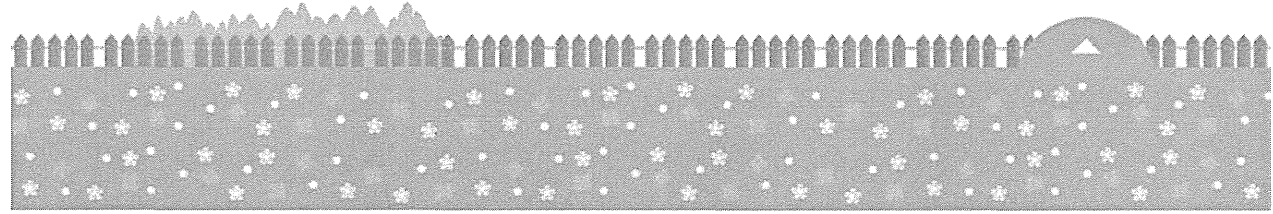
- 2015.01.01 本日、「健やか親子21」のホームページをオープンしました。
- 2015.01.01 本日、「健やか親子21」のホームページをオープンしました。
- 2015.01.01 本日、「健やか親子21」のホームページをオープンしました。
- 2015.01.01 本日、「健やか親子21」のホームページをオープンしました。
- 2015.01.01 本日、「健やか親子21」のホームページをオープンしました。

資料のダウンロード

各省庁の 会議資料	各省庁の 通達・通知資料	山縣班報告書
マークの 使用法	「健やか親子21」 セレクト	健診マニュアル (山崎班)

[このサイトについて](#) | [リンク](#) | [サイトマップ](#)

厚生労働科学研究補助金 健やか次世代育成総合研究事業 研究班
Copyright 2015 by Zentaro Yamagata All rights reserved.



母子保健情報の収集と利活用のための全国共通問診項目の検討

および市町村版・母子保健情報システムの適用

研究協力者 篠原 亮次（山梨大学大学院総合研究部医学域附属出生コホート研究センター）
研究代表者 山縣 然太朗（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座）
研究分担者 山崎 嘉久（あいち小児保健医療総合センター）
研究協力者 秋山 有佳（山梨大学大学院医学工学総合教育部社会医学講座）

平成 25 年度に実施された「健やか親子 2 1」の最終評価等に関する検討会では、次期計画である「健やか親子 2 1（第 2 次）」に向けた今後の課題が提示された。それらの課題の 1 つに情報の利活用が不十分なことがあげられている。その理由として「問診内容等情報の地方公共団体間の比較が困難なこと」、「情報の分析・活用ができていない地方公共団体があること」、「関連機関の間での情報共有が不十分なこと」としている。

これら課題を受け、本研究班では、「乳幼児健康診査の実施と評価ならびに多職種連携による母子保健指導のあり方に関する研究」（山崎班）と共同して、乳幼児健康診査（以下、乳幼児健診）における全国共通の必須問診項目の検討および提案を行った。さらに、本研究班が平成 17 年に開発した既存の乳幼児健診データ用簡易データベース（母子保健情報システム）を活用し、前記の共通問診項目用に改修し、市町村版のシステムを作成した。

そこで本研究班では、全国共通必須問診項目（乳幼児健診必須問診項目）の検討および提案、また共通問診項目に関する市町村版の母子保健情報システムの作成を行ったので報告する。

今後、地方公共団体における保健情報の分析・活用や問診内容等情報の地方公共団体間の比較などの促進による母子保健情報の収集と利活用を多くの市町村・保健所に広く普及させていくことが重要である。

A. 研究目的

平成 25 年度に実施された「健やか親子 2 1」の最終評価等に関する検討会では、次期計画である「健やか親子 2 1（第 2 次）」に向けた今後の課題を提示し、引き続き次期計画を検討する中においても、その課題の精査を進め、検討していくとされている。それらの課題の 1 つに、母子保健事業の推進のための情報の利活用の状況について示している。まず、第 1 に健康診査の内容や手技が標準化されていないこと、第

2 に情報の利活用が不十分なことがあげられている。

この第 2 にあげられた課題の理由として、「問診内容等情報の地方公共団体間の比較が困難なこと」、「情報の分析・活用ができていない地方公共団体があること」、「関連機関の間での情報共有が不十分なこと」としている。

これらの課題を受け、本研究班では、「乳幼児健康診査の実施と評価ならびに多職種連携による母子保健指導のあり方に関する研究」

(山崎班)と共同して、乳幼児健診における全国共通の問診項目の検討および提案を行った。

また、本研究班が平成17年に開発した既存の乳幼児健診データ用簡易データベース(母子保健情報システム)を活用し、前記の共通問診項目用に改修し、市町村版のシステムを作成した。さらに次年度には、都道府県・保健所版を作成予定としている。このシステムの活用により、市町村で得られた乳幼児健診データを電子化して管理し、保健所にて管内市町村分の電子化データをまとめて集計・解析し、市町村、さらには住民へと還元、また市町村から都道府県、都道府県から厚生労働省への情報集約が可能となる。このことから、「情報収集→分析→活用」の一連の過程が実行され、さらにデータの全国比較や地域間比較が可能となり、情報の利活用が促進されると考えられる。

そこで本研究班では、全国共通問診項目(乳幼児健診必須問診項目)の検討および提案、また共通問診項目に関する市町村版の母子保健情報システムの作成を行ったので報告する。

B. 研究方法

本研究班では、「健やか親子21(第2次)」に向けた指標および参考とする指標の検討を行い、国の検討委員会へ提出してきた。これらの指標の一部を乳幼児健診における標準的な健診項目として活用することとし、「乳幼児健康診査の実施と評価ならびに多職種連携による母子保健指導のあり方に関する研究班」(山崎班)と共同して、乳幼児健診における全国共通の問診項目の検討および提案を行った。この標準的な問診項目の選別に関しては、双方の研究班会議にて検討し決定することとした。

さらに、本研究班が平成17年に開発した既存の乳幼児健診データ用簡易データベース(母子保健情報システム)を活用し、前記の共通問

診項目用に改修し、市町村版のシステムを作成した。このシステムは、Microsoft Access用の簡易データベースであり、これまで愛知県の2市町(K町、C市)および山梨県の3市(M市、N市、H市)の市町村で実際に使用し検証済みである。また、市町村の母子保健担当者がデータを集計したり、集計結果を母子保健活動に利活用したりするためにはどうすればよいかの具体例を提示する集計方法・利活用方法を示したマニュアルを既に作成している。

C. 研究結果

1. 乳幼児健診における全国共通の問診項目

「健やか親子21(第2次)」に関する標準問診項目の活用趣旨は次のとおりである(山崎班H25報告書)。

『健やか親子21(第2次)』における考え方のひとつに、健康の社会的決定要因の考え方がある。個人と社会とのつながりや子どもの健康課題の格差の存在といった、従来の乳幼児健診の考え方からの大きな変革が求められる。

『個から個』に加え、これからは『個から社会へ』『社会から個へ』そして『集団と社会』という見方で問診項目をとらえる必要がある。

『健やか親子21(第2次)』においては、『健康行動の指標』や『健康水準の指標』の中のいくつかを、乳幼児健診の標準的な問診をモニタリングすることとした。これらの項目は、個の状況の把握や保健指導、さらにポピュレーションアプローチとしての健康教育として重要である。同時に、問診結果の市町村の集計値を都道府県が把握し国に報告することによって、市町村や都道府県、国の評価につなげることができる画期的な試みである。」

また、最終的に決定した標準的な問診項目に関する指標は次のとおりであり(資料9-1の別紙2)、平成27年2月16日付、厚生労働省雇

用均等・児童家庭局母子保健課より都道府県、政令市、特別区へ事務連絡が通知された（資料9-1）。

(1) 乳幼児健診での必須項目として設定

(15 指標)

1. 妊娠・出産について満足している者の割合（基盤課題A-3）
2. 妊娠中の妊婦の喫煙率（基盤課題A-5）
3. 育児期間中の両親の喫煙率（基盤課題A-6）
4. 妊娠中の妊婦の飲酒率（基盤課題A-7）
5. 仕上げ磨きをする親の割合（基盤課題A-11）
6. 出産後 1 か月時の母乳育児の割合（基盤課題A-参考 7）
7. 1 歳 6 か月までに四種混合、麻しん・風しんの予防接種を終了している者の割合（基盤課題A-参考 10）
8. この地域で子育てをしたいと思う親の割合（基盤課題C-1）
9. 積極的に育児をしている父親の割合（基盤課題C-5）
10. 乳幼児のいる家庭で、風呂場のドアを乳幼児が自分で開けることができないよう工夫した家庭の割合（基盤課題C-参考 4）
11. ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合（重点課題①-1）
12. 育てにくさを感じたときに対処できる親の割合（重点課題①-2）
13. 子どもの社会性の発達過程を知っている親の割合（重点課題①-3）
14. 子どもを虐待していると思われる親の割合（重点課題②-2）
15. 乳幼児揺さぶられ症候群（SBS）を知っている親の割合（重点課題②-5）

(2) 各地方自治体で中間・最終評価の各前年度には調査（4 指標）

1. 小児救急電話相談（#8000）を知っている親の割合（基盤課題A-9）
2. 子どものかかりつけ医（医師・歯科医師など）を持つ親の割合（基盤課題A-10）
3. 妊娠中、仕事を続けることに対して職場から配慮をされたと思う就労妊婦の割合（基盤課題C-2）
4. マタニティマークを妊娠中に使用したことのある母親の割合（基盤課題C-3）

2. 市町村版・母子保健情報システムの適用

本研究班が平成 17 年に開発した既存の乳幼児健診データ用簡易データベース（母子保健情報システム）を活用し、前記の共通問診項目用に改修し、市町村版のシステムを作成した。

データベースは保護者情報と児童情報が入力できるようになっており、児童情報は保護者情報に関連づけられて管理されている。「保護者情報 メニュー選択画面」を<図 1>に、「保護者情報 新規登録画面」を<図 2>に示す。

今年度、決定した共通問診項目と選択肢を当システムに設定し、共通問診項目用とした。問診・健診データの入力画面例（乳幼児健診必須項目用）を<図 3>に示す。なお、本データベースには保護者情報、児童情報、問診・健診データなどを CSV ファイルなどからインポート、または CSV ファイル・Excel ファイルにエクスポートできる機能も設けられている。「データエクスポート機能 メニュー選択画面」を<図 4>に示す。

その他、項目は市町村毎に追加して登録したい項目がある可能性があるため、本データベースでは問診・健診項目について、入力項目を追加・変更できる仕様となっている。問診データに関する入力項目の設定画面例を<図 5>に